PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2002-186222

(43) Date of publication of application: 28.06.2002

(51)Int.CI.

B60K 1/00 H₀₂K

(21)Application number: 2000-383944

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

18.12.2000

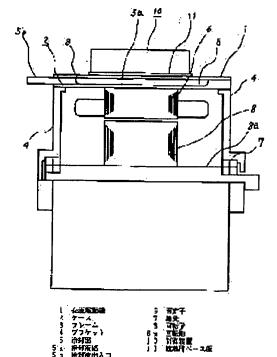
(72)Inventor: SONODA ISAO

(54) MOTOR WITH BUILT-IN CONTROLLER AND VEHICLE LOADING THE SAME

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce size and weight of a vehicle by providing a motor having a built-in small size and light weight controller and loading the motor as a drive motor of the vehicle.

SOLUTION: A cooling mechanism is used in common for the motor 1 and the controller 10 by loading the controller 10 of the AC motor 1 to the external circumference of a frame 3 including a cooling portion 5 of the motor 1 via a base plate 11 for heat radiation.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

10.01.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

19.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the

examiner's decision of rejection or application converted

registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3664650

[Date of registration]

08.04.2005

[Number of appeal against examiner's decision of

2004-23479

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision 17.11.2004 of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(川)特許出顧公開番号 特開2002-186222 (P2002-186222A)

(43)公開日 平成14年6月28日(2002.6.28)

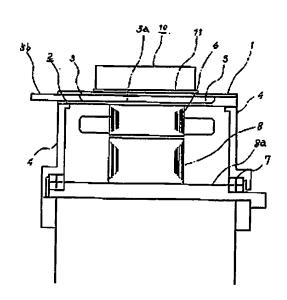
(51) Int.CL?	織別配号	FI	テーマユード(参考)
H02K 11/00		B60K 1/00	3D035
B60K 1/00		B60L 11/14	ZHV 5H115
B60L 11/14	ZHV	H 0 2 K 9/19	A 5H609
H02K 9/19		11/00	X 5H611
# B 6 0 K 6/02		B 6 0 K 9/00 C	
		語 浆脂末 浆脂查密	球項の数9 OL (全 7 頁)
(21) 山壤番号	特獻2000-383944(P2000-383944)	(71)出廢人 000006013	
		三菱電镀株式会社	
(22) 出版日	平成12年12月18日 (2000. 12.18)	東京都千代田区丸の内二丁目2番3号	
		(72)発明者 質田 功	
		東京都千代田区北の内二丁目2番3号 三	
		表电機株式	会社内
		(74)代理人 100073759	
		弁理士 大	岩 増雄 (外3名)
		Fターム(参考) 3D035 .	AA03 BA01
		58115	PC06 PC04 P113 P121 P122
		į	PU10 PU21 11130
		5M609 !	BB03 BB19 PP 05 PP06 PP08
	·	1	PP09 QQ04 QQ09 RR31 RR71
		5A611 .	AAG9 8801 8807 TTG1 UA01

(54)【発明の名称】 制御装置一体型電膨機およびこれを搭載した自動車

(57)【要約】

【目的】 小型軽量化された制御装置一体型電影機を得ると共に、小型軽量化された制御装置一体型電影機を自動車の駆動用電影機として搭載することにより、自動車の小型軽量化に寄与する。

【解決手段】 交流電動機1の制御装置10を電動機1 の冷却部5を育するフレーム3の外層部に放熱用ベース 板11を介して取り付けることにより、電動機1と制御 装置10の冷却機構部を共有化する。



(2)

特閱2002-186222

【特許請求の範囲】

【請求項1】 液冷構造を有する電動機と、上記電動機 に電力を供給する電力変換半導体および上記電動機の制 御を行う制御演算装置からなる電動機制御装置とが一体 に連結されてなる制御装置一体型電勤機において、

1

上記電動機の冷却機構部である冷却液路を有するフレー ム上に、放熱用ベース板を介して上記電動機制御装置が 取り付けられ、

上記電動機制御装置が上記電動機の冷却機構部により冷 却されるように構成されていることを特徴とする副御装 10 置一体型電動機。

【請求項2】 電動機のフレームに、電動機制御装置の 収納部を一体で形成したことを特徴とする請求項1記載 の制御装置一体型電動機。

【請求項3】 電動機制御装置を直接電動機のフレーム に取り付け、放熱用ベース板を設けないことを特徴とす る語求項2記載の制御装置一体型電動機。

【請求項4】 電動機の冷却液路を有するフレームの電 動機制御装置が取り付けられる位置に開口部を設け、上 塞ぐと共に、上記冷却液路内の冷却液が上記放熱用ベー ス板に直接接触するように構成されていることを特徴と する請求項1記載の制御装置一体型電勤機。

【請求項5】 電動機制御装置の放熱用ベース板を、上 記電勤機制御装置を収納できるケース形状としたことを 特徴とする請求項4記載の制御装置一体型電動機。

【請求項6】 電動機制御装置が取り付けられる部分の 電勤機のフレームの冷却液路側の一部もしくは全体に放 熱フィンを設けたことを特徴とする請求項1~3のいず れか一項記載の副御装置一体型電動機。

【請求項7】 電動機のフレームに設けられた開口部を 塞ぐように配設された電動機制御装置の放熱用ベース板 の冷却液と接する部分の一部または全体に放熱フィンを 設けたことを特徴とする請求項4または請求項5記載の 制御装置一体型電動機。

【請求項8】 電動機のフレーム上の電動機制御装置取 り付け位置を、電動機の冷却液路の上流側に配置するこ とを特徴とする請求項1~7のいずれか一項に記載の制 御装置一体型電影機。

【請求項9】 請求項1~8のいずれか一項記載の制御 49 装置一体型電勤機を駆動用電動機として搭載したことを 特徴とする自動車。

【発明の詳細な説明】

[0001]

「森明八尺子では治の印」と「政府は、 外が保持を持っ

〔発明の詳細な説明〕

[0002]

【従来の技術】図7は従来の液冷模造を有する副御慈麗 を搭載した交流電動機である制御装置一体型電動機の機 造の一例を示す断面図である。図7において、1は例え は永久磁石式同期電動機等の交流電動機である。2は交 流電動機 1 のケースで、円筒状のフレーム3と、フレー ム3の両端に設けられた一対のブラケット4から構成さ れる。また、フレーム3にはジャケット状の電動機側冷 却水路318からなる電動機冷却部31と、一対の電動 機制冷却水出入口31 りが設けられている。

【0003】6はフレーム3の内国部に固定された固定 子。7は一対のブラケット4にそれぞれに嵌着された軸 受 8は回転軸8 8 を有する回転子で、回転子8 は固定 子6と径方向に微少隙間をもって対向するように配設さ れ、軸受?を介して一対のブラケット4に回転自在に支 持されている。

【0004】10は図示しない直流電源から供給される 直流電力を交流電力に変換して交流電動機!に供給する 記開口部を上記電動機制御装置の放熱用ベース板により、20、と共に交流電動機1の制御を行う制御装置で、台座32 を介して交流電勤機1のケース2に一体形状に取り付け られている。33は制御装置側冷却水路33aからなる 制御装置冷却部で、制御装置側冷却水出入口33bを有 している。34は制御装置側冷却水出入口33bの出口 側と電動機側冷却水出入口31hの入り口側を連結する ホースである。

> 【0005】次に、従来の副御装置一体型電動機の動作 について説明する。図示しない冷却装置からの冷媒は、 制御装置側冷却水出入口330の入り口側から制御装置 30 側冷却水路33aに供給され、制御装置冷却部33を介 して制御装置1)を冷却する。その後、制御装置側冷却 水出入33万の出口側に連結されたホース34を介して 電動機側冷却水出入口31bの入り口側から電動機側冷 却水路31aに供給され、電動機冷却部31を介して電 動機士を冷却する。その後、冷媒は電勤機側冷却水出入 口310の出口側より排出され、図示しない冷却装置に 回収される。

[0006]

【発明が解決しようとする課題】従来の制御装置一体型 電動機は以上のように電動機とその副御装置が一体化さ れた構造を有しているが、電動機および制御装置の冷却 機構において各別に冷却水路を設ける必要があり、制御 装置一体型電勤機を小型軽量化することができないとい う問題があった。また、上記のような構成を有する制御 花纸厂不会有级技术和自己或叫为 5、1 47 1 ... 5 6.86 4 5 7

3

体型電動機を得ることを目的とする。さらに、小型軽量 化された制御装置一体型電動機を目動車の駆動用電動機 として搭載することにより、自動車の小型軽量化に寄与 することを目的とする。

[0008]

【課題を解決するための手段】この発明に係わる制御装置一体型電動機は、液冷構造を有する電動機と、電動機に電力を供給する電力変換半導体および電動機の制御を行う制御演算装置からなる電動機制御装置とが一体に連結されてなる制御装置一体型電動機において、電勤機の 10 冷却機構部である冷却液路を有するフレーム上に、放熱用ベース板を介して電動機制御装置が取り付けられ、電動機制御装置が電動機の冷却機構部により冷却されるように構成されているものである。

【0009】また、電動機のフレームに、電動機制御装置の収納部を一体で形成したものである。また、電動機制御装置を直接電動機のフレームに取り付け、放熱用ベース板を設けないものである。また、電動機の冷却液路を有するフレームの電動機制御装置が取り付けられる位置に開口部を設け、関口部を電動機制御装置の放熱用ベース板により塞ぐと共に、冷却液路内の冷却液が放熱用ベース板に直接接触するように構成されているものである。また、電動機制御装置の放熱用ベース板を、電動機制御装置を収納できるケース形状としたものである。

【0010】また、電動機制御装置が取り付けられる部分の電動機のフレームの冷却液路側の一部もしくは全体に放熱フィンを設けたものである。また、電動機のフレームに設けられた関口部を塞ぐように配設された電動機制御装置の放熱用ベース板の冷却液と接する部分の一部または全体に放熱フィンを設けたものである。また、電動機のフレーム上の電動機制御装置取り付け位置を、電動機の冷却液路の上流側に配置するものである。

【0011】また、この発明に係わる自動車は、上記楼 造を有する制御装置一体型電動機を駆動用電動機として 搭載したものである。

[0012]

【発明の実施の形態】実施の形態1.以下、この発明の一実施の形態である制御装置一体型電動機を図について説明する。図1はこの発明の実施の形態1による副御装置一体型電動機を示す断面図、図2は図1に示す副御装40置一体型電動機のリヤ側の側面図である。図において、1は交流電動機、2は交流電動機1のケースで、円筒状のフレーム3と、フレーム3の両端に設けられた一対のブラケット4から構成される。また、フレーム3には冷せれた第5年には1900年に対け

定子6と径方向に微少隙間をもって対向するように配設され、軸受7を介して一対のブラケット4に回転自在に支持されている。

【0014】10は図示しない直流電源から供給される 直流電力を交流電力に変換して交流電動機1に供給する と共に交流電動機1の制御を行う電動機制御装置(以 下、制御装置と称する)である。なお、制御装置 1 () は、交流電動機士を駆動するための冷却が必要な回路素 子である半導体スイッチング素子、半導体スイッチング 素子の制御手段、平滑コンデンサねよび半導体スイッチ ング素子保証装置等からなる電力変換部および電勤機1 の副御を行う副御演算装置等が一体化されて構成されて いる。11は制御装置10内の電力変換部を構成する半 導体スイッチング素子が複数個実装された矩形平板状の 絶縁性基板が、熱伝導が良好な状態で取り付けられた矩 形平板状のアルミニウム板からなる放熱用ベース板で、 フレーム3の外層部に直接取り付けられ、この放熱用べ ース板11を介して半導体スイッチング素子が冷却され る。

6 【0015】次に、動作について説明する。図示しない 冷却装置から供給される冷媒は、電動機1のフレーム3 に設けられた冷却液出入口5 b の入り口側から冷却液路 5 a に供給され、電動機1とベース板11を介して制御 装置10を冷却する。その後、冷媒は冷却液出入り口5 b の出口側より排出され、図示しない冷却装置に回収さ れる。なお、冷却液出入口5 b の冷却液入り口側に近い 部分(冷却液路5 a の上流側)に、許容温度の低い電力 変換素子を有する制御装置10を配置する。

【0016】本実施の形態によれば、交流電動機1と制御装置10の冷却機構部を共有化することにより、制御装置一体型電動機の小型軽量化を図ることができる。また、冷却液路5aの上流側に制御装置10を配置することにより、許容温度の低い制御装置10を冷却液温が低い時点で冷却することができ、許容温度の高い交流電動機1と共に両方を適切に冷却することができる。

5

10の防水、防虚等の耐環境性を得ている。そのため、制御鉄置10への水分、虚等の外部からの侵入物を遮蔽するために必要である制御鉄置10のカバーを別途設ける必要がなく、また、制御装置10のカバーを交流電動機1の円筒状のプレームに取り付ける場合より密閉性を得やすくなる。また、放熱用ベース板11を設けずに、フレーム21内に制御装置10を直接搭載する構造としてもよい。

【0019】本実施の形態によれば、実施の形態1と同様の効果が得られると共に、制御装置10を交流電動機 101のフレーム部分と一体に形成されたフレーム21に収納し、平板構造の蓋21aで覆う構造であるため、制御装置10のカバーを別途設ける必要がなく、かつ副御装置10収納部の密閉性を容易に得ることができる。さらに、放熱用ベース板11を設けずに、フレーム21内に制御装置10を直接搭載することにより、部品点数を削減でき、かつ冷却部5と副御装置10間の熱抵抗が改善され、より効果的に制御装置10を冷却することができる。

【0020】実施の形態3.図4はこの発明の実施の形 26 態3による制御装置一体型電動機を示す断面図である。図4において、22は制御装置10の放熱用ベース板11が配設される位置に、放熱用ベース板11と同等またはそれ以下の形状で冷却液路5 a まで普通する開口部22 a を有するフレームである。なお、その他の構成および冷却機構は実施の形態1と同様であるので説明を省略する。

【0021】本実施の形態では、放熱用ベース板11が 配設される位置のフレーム22の外層部に、放熱用ベース板11と同等またはそれ以下の形状で冷却液路5 aま 30 で貫通する関口部22 aを設け、ベース板11によりその開口部22 aを塞ぐ状態で制御装置10を取り付ける。

【① 022】本実施の形態によれば、実施の形態」と同様の効果が得られると共に、制御装置 10の放熱用ペース板 11に直接冷媒が接することとなり、より効果的に制御装置 10を冷却することができる。

【0023】実施の形態4.図5はこの発明の実施の形態4による制御装置一体型電動機を示す断面図である。図5において、23は制御装置10を収納できる形状を有する放熱用ベース板、23aは制御装置10を収納する放熱用ベース板23の蓋である。なお、その他の構成および冷却機構は実施の形態3と同様であるので説明を省略する。

「ひのりょ」大学を小型は大学、 単純社学」のも研究で

本実施の形態による放熱用ベース板23を、実施の形態 1の構造に適用してもよい。

【0026】実施の形態5.図6はこの発明の実施の形態5による制御装置一体型電動機を示す断面図である。図6において、24は制御装置10が取り付けられる部分のフレーム21の冷却液路5 8側の一部もしくは全体に設けられた放熱フィンで、冷却液が流れる方向と平行に形成されている。なお、その他の構成および冷却機構は実施の形態1もしくは実施の形態2と同様であるので説明を省略する。

【0027】また、実施の形態3もしくは実施の形態4 における制御装置10の放熱用ベース板11、23の一 部もしくは全体に放熱フィンを形成してもよい。

【0028】本実施の形態によれば、副御装置10の冷却性を向上させることができ、制御装置10の高出力化を図ることができる。

【0029】実施の形態6. 実施の形態1~実施の形態 5に示す構造を有する小型軽量化された制御装置一体型 運動機を電気自動車やハイブリッド自動車の駆動用電動 機として搭載することにより、自動車の小型化において 効果がある。

[0030]

【発明の効果】以上のように、この発明によれば、電動機と、電動機に電力を供給する電力変換半導体および電動機の制御を行う制御演算装置からなる電動機制御装置とが一体化した制御装置一体型電動機において、電動機のフレームに設けられた冷却部上に放熱用ベース板を介して制御装置を取り付けた構造とすることにより、電動機と制御装置の冷却機構部を共有化することができ、小型軽量化された制御装置一体型電動機を得ることができる。

【0031】また、電動機のフレームに制御装置の収納部を一体で形成する、もしくは制御装置の放熱用ベース板を制御装置を収納できる形状とすることにより、制御装置の耐環境性を簡易な構造で向上させることができる。また、制御装置を放熱用ベース板を設けずに直接収納部(フレーム)に取り付けることにより、部品点数を削減できると共に冷却効率の向上が図れる。また、電動機の冷却液路を育するフレームの制御装置が配設される位置に冷却液路まで貫通する関口部を設け、その開口部を塞ぐように放熱用ベース板を配設することにより、制御装置の冷却効率を向上させることができる。

【0032】また、制御装置が取り付けられる部分の弯動機フレームの冷却液路側の一部もしくは全体に放熱フレンを呼ばるとしたという影響は異の冷却が変まった。

7

台においても、電動機のフレーム上の副御装置の取り付け位置を冷却水路の上流側に配置することにより、許容 温度の低い制御装置と許容温度の高い電動機との両方を 適切に冷却することができる。

【① 0 3 3 】また、上記構成を有する小型軽置化された 制御装置一体型電動機を自動車の駆動用電動機として搭 載することにより、自動車の小型化を維進することがで きる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1による制御装置一体 10 型電影機を示す断面図である。

【図2】 この発明の実施の形態1による制御装置一体型電勤機を示す平面図である。

【図3】 この発明の実施の形態2による制御装置一体型電動機を示す断面図である。

【図4】 この発明の実施の形態3による制御装置一体*

*型電勤機を示す断面図である。

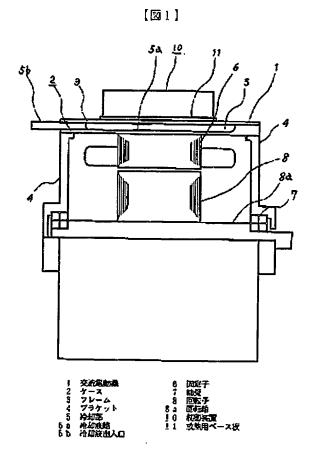
【図5】 この発明の実施の形態4による制御装置一体型電助機を示す断面図である。

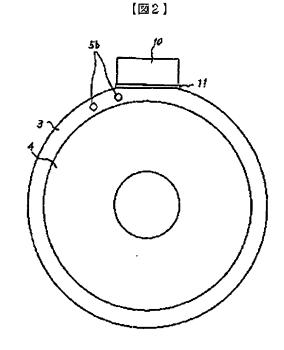
【図6】 この発明の実施の形態5による制御装置一体型電助機を示す断面図である。

【図?】 従来のこの種制御装置一体型電動機を示す断面図である。

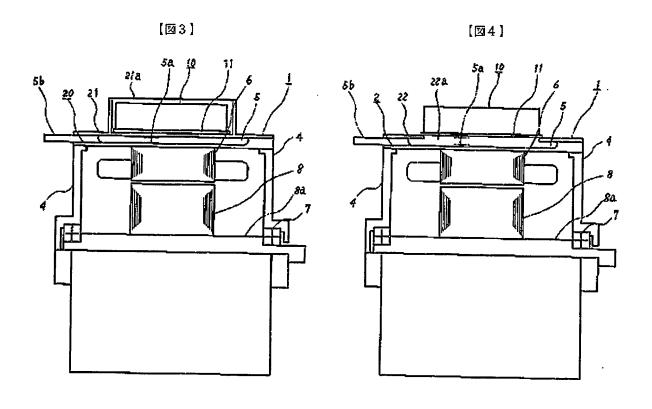
【符号の説明】

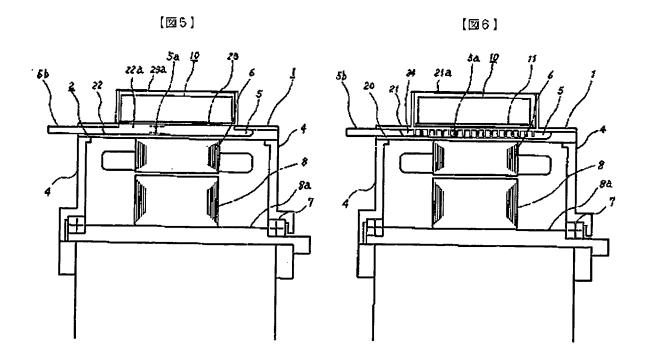
1 交流電動機 2 ケース、3 フレーム、4 ブラケット、5 冷却部、5 a 冷却液路5 a、5 b 冷却液出入口5 b 6 固定子 7 軸光 8 回転子、8 a 回転軸、10 制御装置、11 放熱用ベース板、20 ケース、21 フレーム、21 a 蓋、22 フレーム、22 a 関口部 23 放熱用ベース板 2 a 蓋、24 放熱フィン。





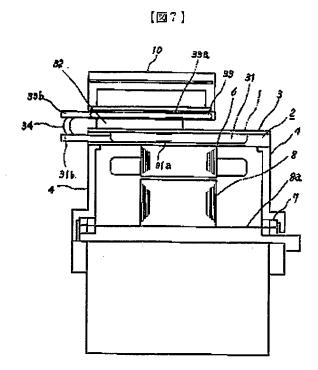
(6)





(7)

特闘2002-186222



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.